

● 8月7日(日) 晴 摩周岳(カムイヌプリ) (857m)

○ 今日も天気は快晴。摩周湖を半周、延々方道7km歩いて摩周岳へ。眼下に見える真っ青な摩周湖と遠くに聳える斜里岳の眺めに感動。

・4時30分起床。今日も快晴だ。昨夜私の前に止めに来た仙台の車はもう出かけてしまっていない。天気は快晴！気温16℃。昨夜は体が疲れすぎていたためか、あまり良く寝られなかったな。この晴天もどうやら今日までらしい。朝食と朝の支度をすませてすぐ摩周湖に向けて快調に車を走らせた。



前にいた仙台の車はもういない



摩周湖第一展望台駐車場

・6時半に摩周湖第一展望台駐車場に到着。すでに登山者が数パーティーが来ている。



登山道入り口

・山の支度を整えて
6時50分に出発。

・若いお嬢さん一人、中年のご夫婦と前後しながら長い湖畔の周遊路を歩きはじめてすぐ、目の前がパッと開け、摩周湖と摩周岳、奥の方に斜里岳の絶景が広がった。思わずみんなの歓声が上がった。みんな先を急いで歩いて行ったが、私は景色や花の写真を撮りながらマイペースで一人のんびり歩いた。



広大な草原が広がり、摩周岳、西別岳、延々と続く道が望まれる

・第一のピークを登りきると広大な草原が広がりトウゲブキやチシマセンブリ、ツリガネニンジンなどの花々が咲いている。左手には摩周湖、前方遠くにはこれから登る摩周岳とその横に西別岳が望まれ、摩周岳へ向かう



周遊路が延々と続いて見える。長い長い道のりだが天気は良いし景色は良いし実に楽しい道だ。ただ日差しを遮るものが全く無い草原なので、真夏の太陽が容赦なく照りつけオープンの中を歩いているようだ。

・炎天下の摩周湖の湖岸を2時間以上歩いて9時過ぎにやっと西別岳分岐に到着した。ここから少し歩くとや摩周岳の登りが始まり、標高差200mの急坂が待っている。無風快晴、猛暑の中の登坂、地獄の始まりだ！



・10時ちょうど、猛暑の地獄を制覇してなんとか摩周岳山頂に立った。すばらしい絶景が広がっている！狭くて険しい山頂に私の他に2パーティーいる。みんな美しい景色に圧倒され言葉も無い。



・目の前に摩周岳の切り立った岸壁が迫りその下には真っ青に透き通った摩周湖が輝く。



・ぐるっと右から左へ見渡せば西別岳、斜里岳、遠くに雄阿寒岳が見える。



・約30分景色を楽しんでから下山。来た道をまた延々と歩いて帰る。今日は日曜日で快晴、斜里岳をめざす沢山の登山者とすれ違った。あの狭い山頂が人で一杯になるだろうな、早く登ってきて良かったな。



・西別岳の分岐で、北海道では絶滅危惧Ⅰ類に指定されている「コイチヨウラン」の群生に遭遇した。このコイチヨウランは神奈川県には存在していない（同類のハコネランとして存在）珍しいランだ！

・帰りの道も相変わらずの無風炎天下、今度は右手に摩周湖を見て、振り返ると今登ってきた摩周岳の切り立った岸壁とその東側になだらかな山容の西別岳が並んで見える。



・すばらしい眺めを楽しみながら摩周湖を半周する長い長い道を歩いて13時過ぎにスタートの摩周湖第一展望台駐車場に辿り着いた。距離にして15kmもあり26000歩あった。朝は早かったので管理人がいなかったが、早速お姉さんが駐車料500円を徴収に来た。舗装が焼けて灼熱の駐車場で一休みして帰途についた。今日の宿泊も昨日と同じ道の駅パパスランドに決めた。

・駐車場の駐車券がすぐ隣の硫黄山と共通と云うことなので、帰り道に寄ってみた。そういえば以前に摩周岳に登った時も同じことをした記憶がよみがえった。硫黄山・壮大な眺めだが駐車場からかなり遠く
にあり、広い溶岩の上を歩いて行かなければならない。炎天下、暑いし疲れているし、とても硫黄山まで
歩いてゆく気がしないので、遠
くから眺めてすぐ退散した。



・とにかく早く風呂へ入りたい。道の駅パパスランドに4時前に着いて、まず風呂へ飛び込んだ。
今日でこの道の駅に3泊する。これで3回この温泉にお世話になった。
安いし良い風呂だ。のんびりと疲れを癒した。

・車に戻ってなんとなく横を見ると駅の駐車場の横にコインランドリーが見える。こんなの昔は無かったな、道の駅をリニューアルした時に出来たのかな。どちらにしてもありがたい。早速今まで溜まった汚れものをまとめてコインランドリーへ車を移動させた。ちょうど夕食時、洗濯を待っている間に風呂上がりのビールで夕食を開始。洗濯が完了してすっきりしたところで夕食も終了。



日も沈んで夕暮れになってきた。
車を駅の駐車場に戻して7時過ぎに良い気分て寝に着いた。

今日も天気が良かったしすばらしい展望もあったし、良い日だったな。
明日は休養日でのんびりしよう。
台風が近くに来ているようで風が強くなってきた。

明日の天気はどうか？